

村の出来事

村内の出来事、話題をお届けします

家畜への感謝と 畜産業の発展を願い 獣魂祭開催



8月22日に、了古院隣接の獣魂碑前で、酪農関係者や猟友会の会員など約40名が出席し、獣魂祭が行われました。安田堅吾酪農振興会長から「人間が生きていくために犠牲になった動物たちへの鎮魂と感謝の心を育む獣魂祭は、農業者にとって意味あることである。今後関係者と連携し実りある収穫と、農業が次代へつながることを願う」とあいさつがされました。

花いっぱい運動の活動が認められ 「道路功労者表彰」受賞



「占冠村国道花いっぱいの会」が、道路功労者表彰（北海道開発局長）を受賞し、8月29日、総合センターで伝達式が行われました。同会は、平成17年から10年間、国道237号沿いを花で彩る活動を続け、地域の美しい景観づくりに努められました。その活動が認められ、このたびの受賞となりました。代表の佐藤敏江さんは、受賞に対して「この賞はこれまでの活動の努力の結晶で、皆さんのおかげ。やりがいいもつながら、これからも続けていきたい。」と話されました。

新鮮な野菜はいかがですか？

しむかっぷ村 秋の収穫祭！



9月7日に、占冠村農業経営研究会による「第12回秋の収穫祭」が占冠村農村公園で行われました。会場は、新鮮な野菜を求め、村内外から多くの来場者が訪れ、大盛況となりました。出店は、野菜販売のほか、シカ肉のロースト、から揚げやクレープなどが並び、デイスクドックショー、毎年恒例のにんじんの無料配布やくじ引きなどが行われ、来場者は秋晴れの中、収穫祭を楽しみました。

森を育てる植樹祭「お魚を殖やす森づくり」



9月11日に、「お魚を殖やす森づくり」が、上トマムの国有林内で行われました。

この取り組みは、「魚が育つためには豊かな水源の保護が必要」なことから、上流部での植樹を行うもので、鶴川漁協女性部を中心に、2000年から始められました。

あいにくの雨天の中、富良野沿線市町村や胆振管内むかわ町など、村内外から約100人が参加し、アカエゾマツの苗木500本を植樹しました。

ツール・ド・北海道2014 占冠村を通過



長蛇の選手にくぎづけ！

9月13日に、国内最大級のステージ制自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が占冠村を通過しました。

千歳市と十勝管内新得町を結ぶ194kmの第1ステージでは、20チーム100人の出場選手が駆け抜けました。

道の駅「自然体感しむかつぶ」付近では、レースを見ようと、村内外から多くの観客が沿道に集まりました。

占冠村が猟区を設定しました

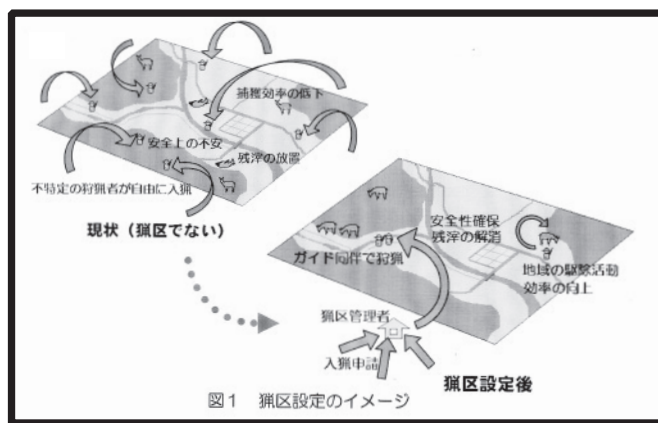
平成26年9月15日より、「占冠村猟区」がスタートしました。猟区では、安全で管理された狩猟環境の実現と計画的なエゾシカの捕獲や農林業被害の抑制をめざします。

また、猟期以外の時期にも、さまざまな鳥獣被害対策や調査等に従事する体制を整備することで、鳥獣行政全体の拡充を図ってまいります。

なお、入猟については、10月1日より入猟者の受付を開始し、入猟できる期間（平成26年度猟期）は11月1日から平成27年3月31日までを予定しています。詳細は占冠村ホームページにて公開しておりますので、ご覧ください。

<http://www.vill.shimukappu.lg.jp/>

■お問い合わせ 林業振興室
地域おこし協力隊
電話 56-2174



猟区とは？

「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」に基づく制度で、管理された狩猟、秩序ある狩猟を行うため、猟場の一部を区切って、その区域内で入猟者数、入猟日、捕獲対象鳥獣及び捕獲数の制限等を行う区域のことを言います。